

のみだより

2006

第6号



旗源平大会(根上北部児童センター)

■ 定例会報告	2
■ 一般質問	4
■ 委員会報告	9
■ 討論	12

編集後記

発行日：平成18年1月27日

発行：能美市議会

編集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎

石川県能美市来丸町1110番地

T E L：(0761)52-8007(代)

F A X：(0761)52-8022

E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp

- 能美市児童館の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市保養センター（わだやま荘）の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市温泉保養館（クアハウス九谷）の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市立九谷焼陶芸館の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市立九谷焼美術館の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市学習会館（コミュニティセンター）の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市和気あいあいの里キャンプ場の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市働く婦人の家の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市体育施設の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
- これらの施設は、財団法人能美市ふるさと振興公社を指定管理者に指定した。

- 能美市商工福祉会館の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
- この施設は、根上町商工会を指定管理者に指定した。

- 能美市九谷陶芸村会館の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
- この施設は、九谷焼団地協同組合を指定管理者に指定した。

- 能美市学習等供用施設の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市コミュニティ施設の指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市集落センターの指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
- これらの施設は、施設が所在する地区の町内会（町会）を指定管理者に指定した。

- 財産の取得について → 可決（全員一致）
- 天狗橋架け替え事業に供するための財産取得。
- 市道路線の認定及び変更について → 可決（全員一致）
- 道路8路線の新規認定と、4路線の終点変更。
- 財産の譲渡について → 可決（全員一致）
- 昭和46年に石川県林業公社と旧辰口町とが締結した造林契約中、収益分担割合の変更に伴う財産の譲渡

人事案件

- 固定資産評価員の選任について
- 高塚 善衛氏（福島町）
- 人権擁護委員の推薦について
- 井出俊一氏（寺井町） 中村 滋氏（佐野町）
開 典子氏（吉原釜屋町） 小西紀子氏（牛島町）

意見書

- 「真の地方分権改革の確実な実現」について → 可決（賛成多数）
- 議会制度改革の早期実現に関する意見書 → 可決（賛成多数）

平成17年[第4回] 定例会報告

12月定例会の主な提出議案として、 議会議員の報酬の改定や、能美市施設の 指定管理者の指定等の議題がありました。

主な上程議案

- 能美市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 議長の報酬を『370,000円』から『450,000円』に、副議長の報酬を『280,000円』から『390,000円』に、上記以外の議員報酬を『245,000円』から『370,000円』に変更する条例の改正。ほかに『能美市常勤の特別職の職員の給与に関する条例』と『能美市教育委員会教育長の給与等に関する条例』の改正を行なうもの。
- 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 石川縣市町村職員退職手当組合理約の変更について → 可決（全員一致）
 - 石川縣市町村消防賞じゅつ金組合理約の変更について → 可決（全員一致）
 - 石川縣市町村消防団員等公務災害補償等組合理約の変更について → 可決（全員一致）
 - 平成17年度能美市一般会計補正予算（第4号） → 可決（賛成多数）
- ケーブルテレビ推進事業において、当初見込みより契約件数が多かったため、ほか乳幼児・児童医療費助成事業やひとり親家庭等支援事業などの福祉費、松くい虫防除事業等の農林費などについて当初見込みより実績が上回ったために補正を行なうもの。
- 平成17年度能美市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） → 可決（賛成多数）
 - 平成17年度能美市介護保険特別会計補正予算（第2号） → 可決（賛成多数）

指定管理者の指定について

- 市内公共施設の管理を現状の使用状況を考慮し、所定の団体に委託したもの。
- 能美市ふれあいプラザの指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市健康と生きがいづくりセンターの指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
 - 能美市老人福祉センターの指定管理者の指定について → 可決（全員一致）
- これらの施設は、社会福祉法人能美市社会福祉協議会を指定管理者に指定した。

一般質問

倉元 正順議員



Q ケーブルテレビによる地域の活性化と情報の共有

市民から期待を持たれているケーブルテレビの、よりユニークなコミュニケーションとテレビを利用した地域の活性化、市民情報の共有についての考えは。

A 市長答弁

地域内産品の情報発信により、地域内流通の促進、講演会や研修内容の放送などを通じて最新情報の取得やビジネスへの活用が考えられる。地域チャンネルを活用した地域コミュニティの活性化も期待している。

Q 高齢者問題

高齢化社会に向け、心身共に健康で元気な高齢者を育てるための具体策、また一人暮らしを初めとする孤独な高齢者のサポートについての施策を問う。

A 市長答弁

能美市においては、民生委員や地区役員による見守りネットワーク活動が展開されており、困り事相談員による生活相談事業も実施している。また、市の配食サービスの際老人宅の観察など、情報の収集による支援体制を進めている。地区住民が一体となって、地域に住む老人家庭に対する友情、支援の輪を強化する仕組みができないか、今後対応策を練っていききたい。

米田 敏勝議員



Q 松枯れ対策について

今日松枯れ対策として数千本の枯松を伐倒し又樹幹注入による元気な松への感染を防いで来たが、その効果あまり現われず黒松の大木の枯死が後を断たない。今後の松枯れ対策としての抜本的歯止めとしての対応策を示せ。

A 市長答弁

伐倒駆除はもちろん樹幹注入による保護の徹底。空中や地上からによる薬剤散布も考えている。薬剤散布については環境問題もからんでいるが住民団体の理解

Q 少子化問題の対策について

今日少子化現象が早まり危機的問題となっているが、対応策としての多子世帯支援策に積極的に取り組む事が急務ではないか。

A 市長答弁

市では乳幼児の医療費の無料化、第三子以上五歳まで年間六万円の支給、保育料については二人目半額三人目以上は無料にしており、今後は県主導によるプレミアムパスポート事業にも積極的に参画し多子世帯支援策に積極的に取り組んで行きたいと思っている。

一般質問

嵐 昭夫議員



Q 県道拡幅及び消雪工事を

小松鶴来線、宮竹町東信号百メートル上より天狗橋間の道幅が狭くカーブがあり、北側は土盛りで弱く滑りやすい。除雪も大変で、気温が下がり凍結する。危険な状況の中、通勤通学に苦勞する。拡幅、消雪設備を県に強く要請せよ。今期冬には除雪対策に万全を。

A 市長答弁

地元の長年の要望である、県道整備事業、最重要項目として再三県に要望している。今後も粘り強く陳情行動する。

Q 特養ホームの増設と支援策

消雪工事は、人家よりはなれ、水源確保、財政面で無理、機械除雪での対応にご理解の程を。

A 市長答弁

要介護認定者現在一四六三人、内、入居待機者二九七人おり、今後も増えるので特養ホーム増設を計画せよ、利用サービス費の充実、市独自策を。

大変大きな課題である。保険、介護サービス給付の増大施設経営等問題も多い。近隣自治体と連携をとり努力。地域密着型の小規模多機能居宅介護施設三カ所、七五床を計画している。低所得者には負担軽減措置に配慮。通所利用者の食事負担に市独自で検討している。

北村 國博議員



Q 行財政改革大綱の策定は。

A 市長答弁

今年7月に助役を本部長とする行政改革推進本部を立上げ、人件費等の行財政運営の効率化・各種事業の見直し・税財源確保手段として企業誘致の努力等をして既に策定段階に入っている能美市総合計画とも整合性を考慮しながら大綱策定に臨む所存である。

Q 生涯学習の推進・統合再編については。

A 教育長答弁

Q 都市計画区域・用途地域の指定について

A 産業建設部長答弁

全市域の均等性・公平な基準の下で平成19年度策定を目指して先進地事例も参考にしながら議論を深めたい。

一般質問

青山 利明議員



Q 休日保育の実施をせよ

子育て支援の充実を望む声が多い。休日に両親とも仕事の家庭もある。保育園、学童保育について、日曜、祝日、夜間保育の実施。学童保育時間は保育園サービ

A 市長答弁

休日が勤務の特異なケースについては具体的な支援策ができないか検討する。

Q 歩いて生活、自転車

地球温暖化防止のため、自らの健康のため歩いて生

活、自転車で買物。公共交通利用促進運動の先頭に立て。「じざつせ号」を増発して早期に運行を再開せよ。

A 市長答弁

全く同感であり、各種行事でPRしている。「じざつせ号」は来年度中に本格的な実験運行できるよう進めたい。

Q AEDの設置と講習の普及

病院外での心停止は交通事故の三倍を超える件数がある。簡単な操作で市民の救命率アップのためAED（自動体外式除細動器）を能美市の主要施設に設置せよ。

A 市長答弁

新年度に必要なところから配備する。職員、施設利用者等に心肺蘇生法と併用した講習を実施する。

一般質問

居村 清二議員



Q 鳥インフルエンザからの新型インフルエンザへの市の対策は

鳥インフルエンザが東南アジアで大流行し、67人が死亡。この毒性の高いウイルスH5N1型が、新型インフルエンザとして世界的流行が懸念されている。唯一の治療薬タミフル備蓄確保について市の対策を問う。

A 民生部長答弁

現在は国内非発生であるが、関係省庁対策会議の設置都道府県に対する対策本部の設置の要請、治療薬の確保すべき量を決定し、備蓄に取り組む。国と県では、

H18、H19の2ケ年でタミフルの備蓄をし、別の薬剤リレンザの備蓄の準備をしている。

Q 災害に強いまちづくりの取組みについて

能美市防災体制の現状はどうか。災害は市民が受けるものであり、市役所内の体制はもとより地域、町内会そして市民の連携が不可欠である。又、河川の対策の取組みを問う。

A 市長答弁

大災害に備えて、近隣、県内の市町と消防や災害時の相互応援協定を結ぶ。市消防団、地区自衛消防団の総合訓練等をしている。自主防災組織の結成を推進している。河川や土砂崩れなど災害のおそれのある箇所を把握し、関係機関に働きかけ、計画的に改善を図りたい。

北野 哲議員



Q 産業振興の方策は

今後三位一体の改革により国からの補助金が減額され、自主財源の強化が必要で特に教育、福祉関係は水準を落とせずその財源を確保するのは産業振興を図るべきで工業用地を確保し企業誘致を進めるべきである。岩内、清水、山口の各工業用地は未定の様でより良い条件を提示し、新たな用地も必要かと思うが、企業誘致の対応を問う。

A 市長答弁

企業誘致は雇用機会が存在し下請企業が発展し高い

技術を持し異業種交流等で付加価値が上がり、交通アクセスが至便で立地、補助制度も充実している事が条件である。合併後、進出企業も数社が決定している。多種多用途の企業要望には用地は不足気味で土地利用計画を検討する。産業振興奨励条例により周辺市町より十分助成もある。北陸先端科学技術大学院大学との産学官の連携によりさらなる企業誘致の推進に取り組む。



薬生工業団地

東 正幸議員



Q 今後の道路網整備の実施計画は

都市建設計画の中に、コミュニティを重視した快適居住のまちづくりがあり、その一つとして道路整備の推進がある。具体的な内容を問う。

A 産業建設部長答弁

従来事業として北中央線、小松インター線、下清水出口線、交通安全施設整備事業や消雪事業を新規採択事業として上清水下徳山線、辰口倉重線、南中央線を中心に着工、完成に向けて進めている。

今後については、新市基

本計画、基本構想策定に合わせて実施可能な事業を中心に国、県、市財政局と協議調整を計り立案していきたい。

Q 市民に理解を求める対応は

道路網整備の実施計画づくりについて準備体制と手法を問う。

A 産業建設部長答弁

大型プロジェクトについては、学識経験者や行政関係者に加え旧3町の一般市民や各種団体の方々に計画素案を提示、概要説明を行い、意見や助言を取り入れながら事業を進めるというP方式でその中の事業として能美市横断道路整備推進協議会やJR寺井駅周辺整備事業については、検討委員会を立ち上げ事業の概要や効果、必要性を説明し今後の事業を進めたい。

委員会活動

総務 常任委員会



▲総務常任委員会風景

委員会付託案件 2件

- 石川県市町村職員退職手当組合理約の変更 → 原案承認（全員一致）
市町村合併による輪島市、門前町合併に伴う規約改正
- 能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
 - ・能美市まちづくり振興基金を新たに設置する
 - ・報酬条例の改正による議会費の補正
 - ・辰口庁舎維持管理（蓄電池8台を入れ替える）
 - ・情報管理費（ケーブルテレビ契約件数が当初見込より増加）

委員会における質疑応答

- ◎ 県市町村退職手当組合に金沢、小松市が加入していないのか。
A 加入していない。自前で退職金を支払っている。
- ◎ 非常用無停電電源装置の電池交換は早すぎないか。
A 電池なので建物の耐用年数と違い5年の耐用年数で機能が低下したため。
- ◎ ケーブルテレビの1,309万円の補正は必要なのか。
A 国庫補助対象分2000件見込んでいましたが594件超過した。
- ◎ ケーブルテレビの申込みを忘れた方への対応はどうか。
A 10月を超えて忘れた方は小松テレビへ申し込み70,000円負担してもらう予定。
- ◎ ケーブルテレビ追加キャンペーンを行う予定はあるのか。
A 追加キャンペーンの予定はしていない。
- ◎ 市営住宅の加入はどうか。
A 市営住宅は12チャンネル分は無料で見られるが他チャンネルは有料である。
- ◎ 全体の普及率はどうか。
A 根上地区32.1%辰口地区31.5%寺井地区23.7%全体でアパートを含むと30%程度。
- ◎ 共同アンテナ撤去費用の補助は出るのか。
A 建設時の補助同等程度の補助を考えている。
- ◎ 寄附金は個人情報保護条例の関係で公表できないのか。
A 金額は詮索される場合があるので金額を抜いて広報に掲載している。
- ◎ 生活保護費負担金210万円の補正内容はどうか。
A 48世帯の見込みであったが5世帯増加によるものである負担率国3/4、市が1/4である。

一般質問

近藤 啓子議員



Q 介護保険法改正に伴う市民の負担の軽減を

10月からの介護保険の改定で、在宅サービスの負担も重くなっている。通所サービスやショートステイの負担軽減で在宅介護を応援すべきでないか。

A 市長答弁

通所介護サービスの負担軽減を図るために、具体的に検討を進めている。

Q 市独自の子育て支援を

病児保育・病後児保育の実施とゼロ歳児の保育料加算の廃止で負担軽減を図れ。

民生部長答弁

病後児保育を実施するに際しての問題点を慎重に検討している。

保育料加算廃止は、年間1,000万円の持ち出しとなり困難である。

Q 米軍訓練の小松基地移転に反対せよ

米軍F15戦闘機の小松基地への訓練移転は、住民や自治体への周知や合意がないこと、現在も騒音被害に苦しみ裁判闘争が進んでいること、F15戦闘機は事故が多いこと等問題がある。市民の安心・安定、平和を守る立場から反対すべきでないか。

A 市長答弁

訓練の規模、期間など具体的にはきいていない。現状ではコメントできない。



▲ AED（自動体外式除細動器）

AED（Automated External Defibrillator）は、止まっている（痙攣（けいれん）している）心臓に対し電気を流して、元の心臓の（規則正しく動く）状態に戻すための医療器具です。（写真は、トレーナー（講習用の機械）であり、実際の現場では使用できません。）
これまでは、医師や救命救急士にしか使用が許されていませんでしたが、AEDが安全かつ簡単に使用できるようになったため、2004年より誰でも使用できるようになりました。この機械は昨年の愛地球博の会場に多数設置され、初期救命に大きな効果をあげました。

現在、能美市内では『いしかわ動物園』と『寺井高校』にAEDが配置されています。

▼ AEDを使用した救急救命講習の様子

能美広域消防では、救急救命講習の中でAEDの使用法についても指導を行なっています。

詳しくは、能美広域消防本部（TEL 58-6320）か、市内各消防署までお問い合わせください。



委員会活動

教育民生 常任委員会



▲教育民生常任委員会風景

委員会付託案件 17件 主なもの

- 能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
障害者居宅サービス、乳幼児及びひとり親家庭等医療費、がん検診、人間、脳ドック助成等の増加見込み、海岸保安林の松くい虫対策、中学校部活動大会経費の一部助成など。
- 能美市国民健康保険特別会計補正予算 → 原案承認（全員一致）
療養給付費、介護納付金、出産育児一時金、葬祭費の増加
- 能美市介護保険特別会計補正予算 → 原案承認（全員一致）
介護システム改修業務等経費及び介護サービス給付費増加
- 能美市ふれあいプラザ等各種施設の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
各種施設を町会又は町内会、ふるさと振興公社、社会福祉協議会等へ指定管理者として指定。
- 財産の譲渡について → 原案承認（全員一致）
昭和46年に石川県林業公社と旧辰口町とが締結した造林契約中、収益分担割合の変更に伴う財産の譲渡

委員会における質疑応答

- ◎ 小学校児童の安全対策はどうか。
A 各小中学校で見守り隊を組織しパトロールしている。通学路の再点検もする。
- ◎ 包括支援センターとは。
A 市内に地域包括支援センターを一ヶ所設置し各地区の在宅介護支援センターを組織に組み込み介護を充実させる。
- ◎ クアハウス九谷のトレーニング機器が老朽化しているが。
A 危険なものは交換していきたい。
- ◎ 保育園、学校の洋式便所の設置状況はどうか。
A 設置されていない学校、保育園は寺井地区に多い。
- ◎ 出生率及び少子化対策としてプレミアムパスポート事業のようなものを実施できないか。
A 県事業で行なわれているが市として拡大を推進する。
- ◎ 通学路に街灯整備をして欲しい。
A 町会からの要望で設置している。防犯協会と協議する。
- ◎ 辰口保育園の用地買収の進捗状況はどうか。
A 現在、関係の土地について交渉中である。

委員会活動

産業建設 常任委員会



▲産業建設常任委員会視察風景

委員会付託案件 9件

- 能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
・農業振興費の中山間地域直接支払い事業
・工業振興費の産業振興奨励補助金
- 能美市保養センター指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 能美市温泉保養館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 能美市商工福祉会館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 能美市九谷陶芸村会館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 能美市九谷焼陶芸館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 能美市九谷焼美術館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）
- 財産の取得について（天狗橋架け替えに伴う用地取得によるもの） → 原案承認（全員一致）
- 市道路線認定及び変更について（新たに市道路線を認定変更するもの） → 原案承認（全員一致）

委員会における質疑応答

- ◎ 中山間地域直接支払い事業で委託が認められない区域は。
A 国造地区に館町を入れていたが傾斜地と認められなかった。
- ◎ 九谷陶芸村会館と九谷焼陶芸館、九谷焼美術館の指定管理者の違いは何か。
A 前者は長年のノウハウを持つ協同組合に、後者は公共的な面でふるさと振興公社に。
- ◎ 大型SC出店について、その後の状況と取り組みについて。
A 現時点では問題点課題点が多過ぎ推進する考えはない。
- ◎ 将来的な当該用地の土地利用は。
A 熊田川水系農振地域の地元と調整が出来れば工業用地とする一案もある。
- ◎ 地権者にとって来年早々の耕作の事を考えると本件を先送りすべきではない。当委員会としての方向付けを示すべきだ。
A まだ結論を出すのが早いのではないかと意見もあったが少しでも早く当委員会としても執行部の考え方に対する方向付けを示すべきとの判断から賛否を問うた結果退席者二名を除き全会一致で執行部の考え方に賛成した。

討論 反 対

近藤 啓子議員



議案第81号

議員報酬を月額37万円に引き上げ、議長、副議長の報酬も、45万円、39万円に引き上げるものである。

能美市における議会活動を保障する上で一定の引き上げは必要と考える。が、多くの市民は、不況のもとで、リストラ・合理化、医療・年金・介護・増税などの住民負担増の押

しつげに苦しんでいる。こんな時に、51%のアップは認めることはできない。

期末手当を0.05カ月引き上げについても反対である。

常勤の特別職の給与、及び教育長の給与において、期末手当を0.05カ月引き上げにも反対である。

議案第82号

一般職員給与を月例給で0.3%、配偶者扶養手当を月額500円引き下げ、勤勉手当を月額0.05カ月引き上げるものである。

ラスパイレース指数、春闘相場から見ても合理性を欠いている。更に4月にさかのぼることは「不利益不遡及」の原則にも反する。

公務員の賃下げは、地域の民間労働者との関係でも、賃金水準引き下げの悪循環を引き起こす。地域経済への影響もおよぼすものであり、認めることはできません。



▲議場における審議風景 写真提供：テレビ小松

新しい議場で議会が行なわれました

在任特例期間中に、議場の改修を行い、12月議会より辰口庁舎3階議場にて本会議を行ないました。

新しい議場では、40席の傍聴席をご用意して、皆様の傍聴をお待ちしております。

詳しくは、能美市ホームページ (<http://www.city.nomi.ishikawa.jp>) をご覧いただくか、能美市議会事務局までお問い合わせください。(お問合せ先は、表紙右下に記載されております。)

編

集

後

記

能美市議会選挙で、多くの真心からの御支援を受け、議会に送っていただき、早くも3ヶ月経ちました。議会活動をわかり易く伝える広報誌として努力する事を決意しております。

さて近年に無い大雪となり除雪作業に従事されている皆様方に厚くお礼申し上げますと共に、今後もしっかり安全に留意していただき、早めの作業をお願いします。

十七年の世相を漢字一文字で表すと、「愛」と決まったそうです。天皇家の長女のご結婚、ゴルフ、卓球、「愛」知万博等あげられる一方、凶悪犯罪など「愛」の足りない事件も多かった。世界でも災害の多い悲しみの年でもあった。

さて能美市ではどうであったか、市民の声を幅広く聞いて、議会に反映していきたい、「話し合い」、市民への幸福、「愛」を掲げて協力して参りたい。皆様の御健康と御活躍を、お祈り致します。(風 昭夫)

追伸 広報に対する御意見を寄せください。

●広報特別委員会●

委員長

小手川正明

副委員長

嵐 昭夫

委員

白川 寛

倉元 正順

北野 哲

福田 豊

